

**Japanese Utility Model Laid-Open**

(11) Japanese Utility Model Laid-Open No.: 59-140948  
(43) Japanese Utility Model Laid-Open Date: September 20, 1984

---

(21) Application No.: Japanese Utility Model Application No. 58-35793

(22) Filing Date: March 10, 1983

**【TITLE OF THE INVENTION】**

**SCHEME FOR MOUNTING COVER OF PARKING BRAKE OF VEHICLE**

**【CLAIM 1】**

A scheme for mounting cover of parking brake of a vehicle comprising an opening hole portion for a parking brake lever mounted to a rear console main body wherein a slidable groove formed to one side of a cover having a drawing hole to insert the lever and a guide formed to another side such that the cover is slidably mounted to the opening hole portion.

# 公開実用 昭和 59— 140948

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—140948

Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和59年(1984)9月20日

B 60 T 7.08

7146—3D

F 16 B 5.10

6673—3J

B 60 R 7.04

7443—3D

審査請求 未請求

(全 頁)

54 自動車等におけるパーキングブレーキ用カバーの取付け構造

島プレス工業株式会社内

⑭ 考案者 磯谷勉

豊田市下市場町3丁目30番地小

島プレス工業株式会社内

21 実 願 昭58—35793

⑮ 出 願 人 小島プレス工業株式会社

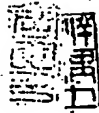
豊田市下市場町3丁目30番地

22 出 願 昭58(1983)3月10日

12 考 案 者 山口正幸

⑯ 代 理 人 弁理士 岡田英彦

豊田市下市場町3丁目30番地小



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

自動車等におけるパーキングブレーキ用カバーの取付け構造

### 2. 実用新案登録請求の範囲

リヤコンソール本体に設けられた、パーキングブレーキ用レバーのための開孔部と前記レバーを挿入するための導出孔を有するカバーとのいずれか一方に摺動溝を設け、他方にはガイドを設けて、前記カバーを前記開孔部に対してスライド可能に装着したことを特徴とする自動車等におけるパーキングブレーキ用カバーの取付け構造。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、自動車等におけるパーキングブレーキ用カバー（以下、単にカバーという）に関するものである。

従来、カバーの取付け構造としては、例えば第14図に示すようなものが知られている。この例のものは、リヤコンソール本体Rの周縁下面に複数本のピン軸Pが垂設されており、カバーCはま

(1)



ずこの各ピン軸Pに差込まれる。次いで、各ピン軸Pに対して押え枠Wを差込んで、カバーCを挟み付ける。この下で、各ピン軸Pをそれぞれ熱かしめKとすることによって、カバーCを取付けるというものであった(第2図参照)。このように、従来方式によるカバーCの取付け作業は煩雑であるとともに、仮付けの工程と熱かしめの工程とを経て行われる関係上、当然に取付け時間の遅延を招くものであった。



しかも、この形式のものではパーキングブレーキをスライドさせるための開孔部としてスリットBを設けなければならないので、内部にほこりが入りやすいという問題があり、さらには、このスリットBより内部が見えるので(これはパーキングブレーキを引き上げたときに著るしい)美感を損うという問題があった。

そこで、本考案では上記に鑑みて、取付けが容易でかつ開孔部の面積を可及的に小さくすることができる、自動車等におけるパーキングブレーキ用カバーの取付け構造の提供を目的とするものであ

(2)



る。

本考案では上記目的を達成するために、パーキングブレーキ用レバーのための開孔部に対して、前記レバーを挿入するための導出孔を有するカバーをスライド可能に装着したことを特徴とするものである。

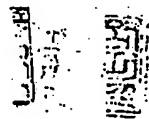
以下、本考案の一実施例を図面によって詳細に説明する。

図において、1はリヤコンソール本体（以下、単に本体という。）であり、合成樹脂材にて中空のボックス状に形成されている。そして、本体1の中央部には、これの斜面1Aに沿って方形状の開孔部2が開設されている。

開孔部2は、その左右の端部に第2図に示すような略L字状のガイド2a, 2bがこの端部に沿って形成されており、また開孔部2の上下の端部には、後述するカバー3に設けられた係止部4, 5と係着してカバー3の移動範囲を制限する係止片2c, 2dが設けられている。

次に、3は前記開孔部2を蓋するためのカバー

(3)



で、これの左右両端部には前記ガイド 2 a, 2 b とスライド可能に嵌挿される、略コの字状の摺動溝 6, 7 がこの端部に沿って設けられている。そして、同カバー 3 の上下両端部には前記係止片 2 c, 2 d と係着しうる略三角形の係止部 4, 5 が設けられており、さらに同カバー 3 のほぼ中央部にはパーキングブレーキ P B の先端部を外部へ突出させるための略四角形状の導出孔 8 が設けられている。なお、この導出孔 8 の周縁部には屈曲時における同導出孔 8 の上下両端部付近への応力集中を避ける為の補強壁 9 が設けられている。また、カバー 3 は本例では耐摩耗性、屈曲性及び復元性に優れかつ摩擦係数の小さいペルブレンの B 3000 にて形成されている。

上記構成において、リヤコンソール本体 1 の組付時に、カバー 3 は第 4 図に示すように開孔部 2 の下部より摺動溝 6, 7 をガイド 2 a, 2 b に嵌挿させながら挿入し、この後に導出孔 8 よりパーキングブレーキ P B のレバーを突出させて車両へ装着する。

(4)



この状態において、パーキングブレーキ P B の作動を解除すべく、第 5 図に示すようにパーキングブレーキ P B を下方へ引きおろしたときには、これに伴ってカバー 3 はガイド 2 a, 2 b に沿って屈曲しながら図示左方へスライドする。逆に、第 6 図に示すようにパーキングブレーキ P B を作動させるべく上方へ引き上げたときには、これに伴ってカバー 3 はガイド 2 a, 2 b に沿って屈曲しながら図示右方へスライドする。

このように、本例ではパーキングブレーキ P B を操作した際、カバー 3 は同パーキングブレーキ P B と一体的に動くため、カバー 3 にはパーキングブレーキを突出させるための必要最少限の導出孔 8 を形成するのみでよいので、内部にほこりが入ったり、内部が見えたりする不具合はなくなる。また、カバー 3 は屈曲、復元性及び耐摩耗性に優れ、しかも摺動抵抗の少いペルブレンの B 3000 にて形成されているので、屈曲させながらスライドさせるのが容易になる。

次に、カバー 3 の他の実施例について説明する。

(5)



摺動溝 6, 7 は第 3 図に示すように連続して設けるのではなく、第 8 図、第 9 図に示すように不連続状の摺動孔 6 A, 7 A としてもよい。こうすることによって、カバー 3 は第 10 図、第 11 図に示すように、上反り若しくは下反りした場合、スパン B P でなめらかに屈曲することができる。なお、この他に摺動溝は第 12 図の 6 B, 7 B にて示すような形状にしてもよく、さらには第 13 図に示すような摺動溝 6 C, 7 C としてもよい。(第 12 図、第 13 図では摺動溝 6 B, 6 C のみを示してある。)

第 12 図に示すような摺動溝 6 B, 7 B とした場合にはスパン B P を小さくできるので、より一層屈曲性がよくなるという特徴があり、第 13 図に示すような摺動溝 6 C, 7 C とした場合には摺動溝のラップ代を大きくとれるという特徴がある。このように、上述のような構成にすることによって摺動溝のラップ代を任意に定めることができるとともに、摺動溝は適度の弾力性を有するので、スライド時にロックすることがないという特徴が

(6)





ある。

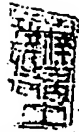
即ち、本考案は実用新案登録請求の範囲に記載した構成によって、構造が簡単になり開孔部に対するカバーの組付性が向上するという特徴がある。しかも、開孔部はレバーを挿入しうる面積さえ有していればよく、従来よりも可及的に小さくできるので、ホコリが入ったり美感を損ねたりする不具合を防止できるという特徴がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はリヤコンソール本体を主体として示す斜視図、第2図は第1図のⅠ-Ⅰ線断面図、第3図はカバーを主体として示す斜視図、第4図はカバーのコンソール本体への組付方法を示す一部断面図、第5図はパーキングブレーキの作動を解除した状態でのカバーのスライド位置を示す側断面図、第6図はパーキングブレーキを作動させた状態でのカバーのスライド位置を示す側断面図、第7図は補強壁を示す斜視図、第8図は摺動溝の他の実施例を示す側面図、第9図は摺動溝の他の実施例を示す斜視図、第10図、第11図はガイド



(7)



を屈曲させた様子を示す側面図、第 1 2 図、第 1 3 図は摺動溝の他の実施例を示す側面図、第 1 4 図は従来例を示す斜視図である。

1 … リヤコンソール本体

2 … 開孔部

2 a, 2 b … ガイド

3 … カバー

6, 7 … 摺動溝

8 … 導出孔

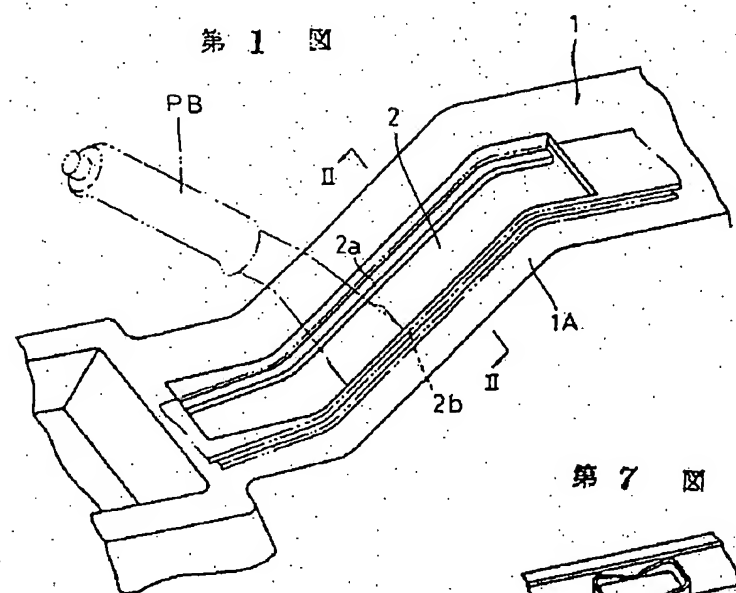
出 願 人

小島プレス工業株式会社

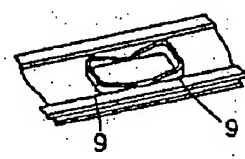
代 理 人

弁理士 岡 田 英 彦

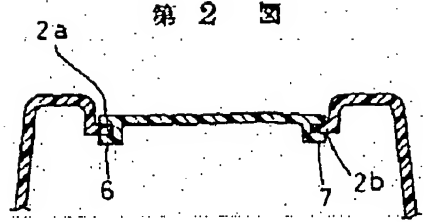
第 1 図



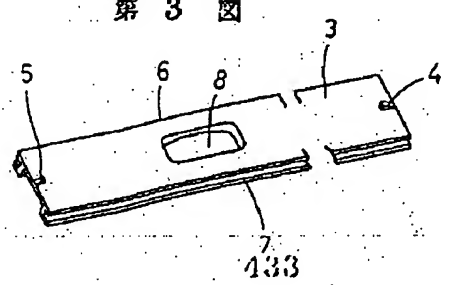
第 7 図



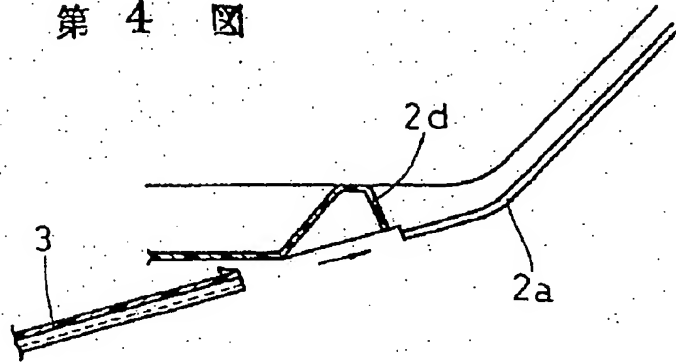
第 2 図



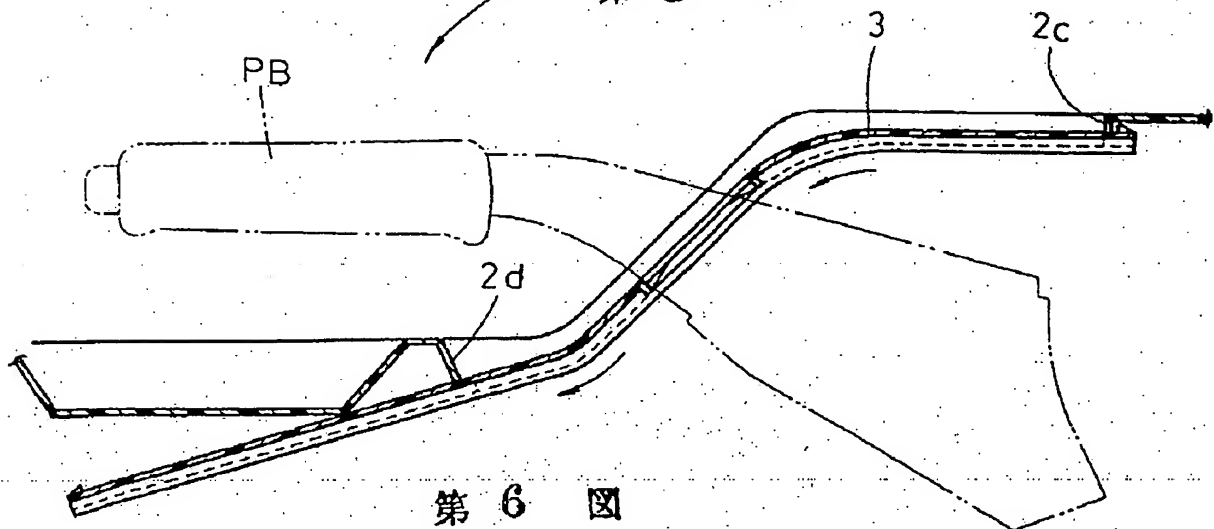
第 3 図



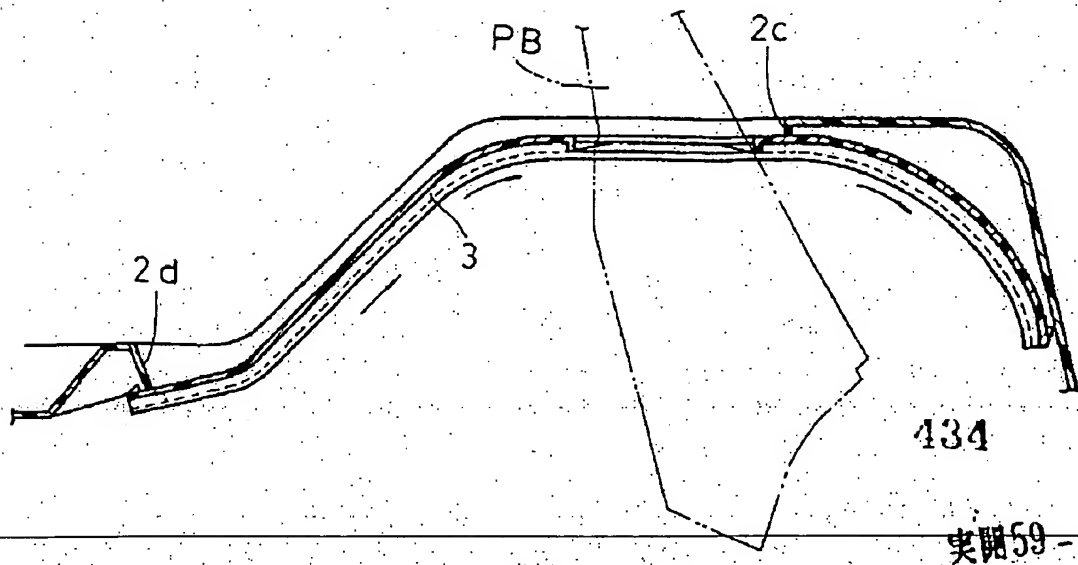
第 4 図



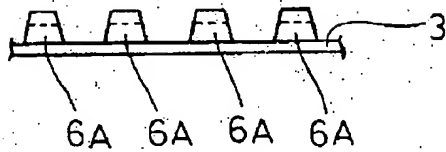
第 5 図



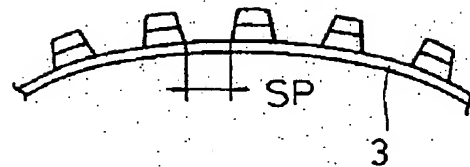
第 6 図



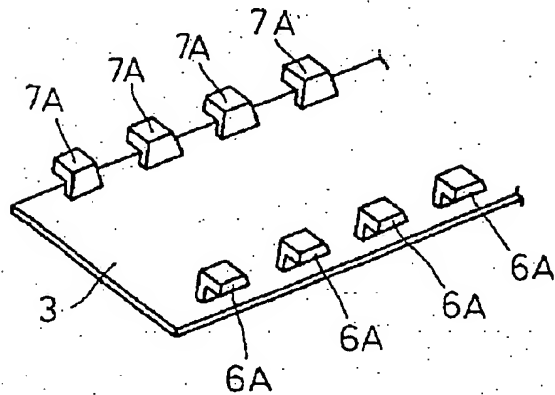
第 8 図



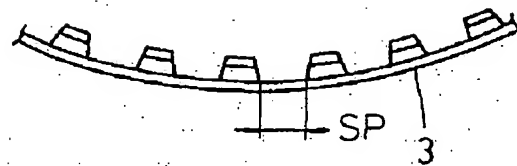
第 10 図



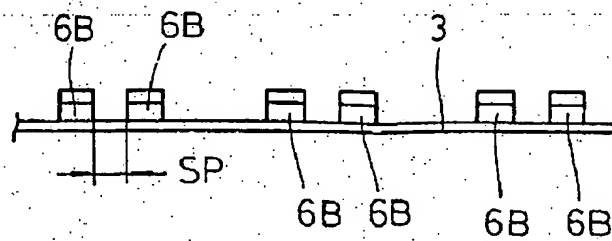
第 9 図



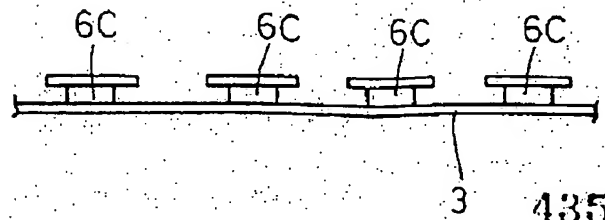
第 11 図



第 12 図

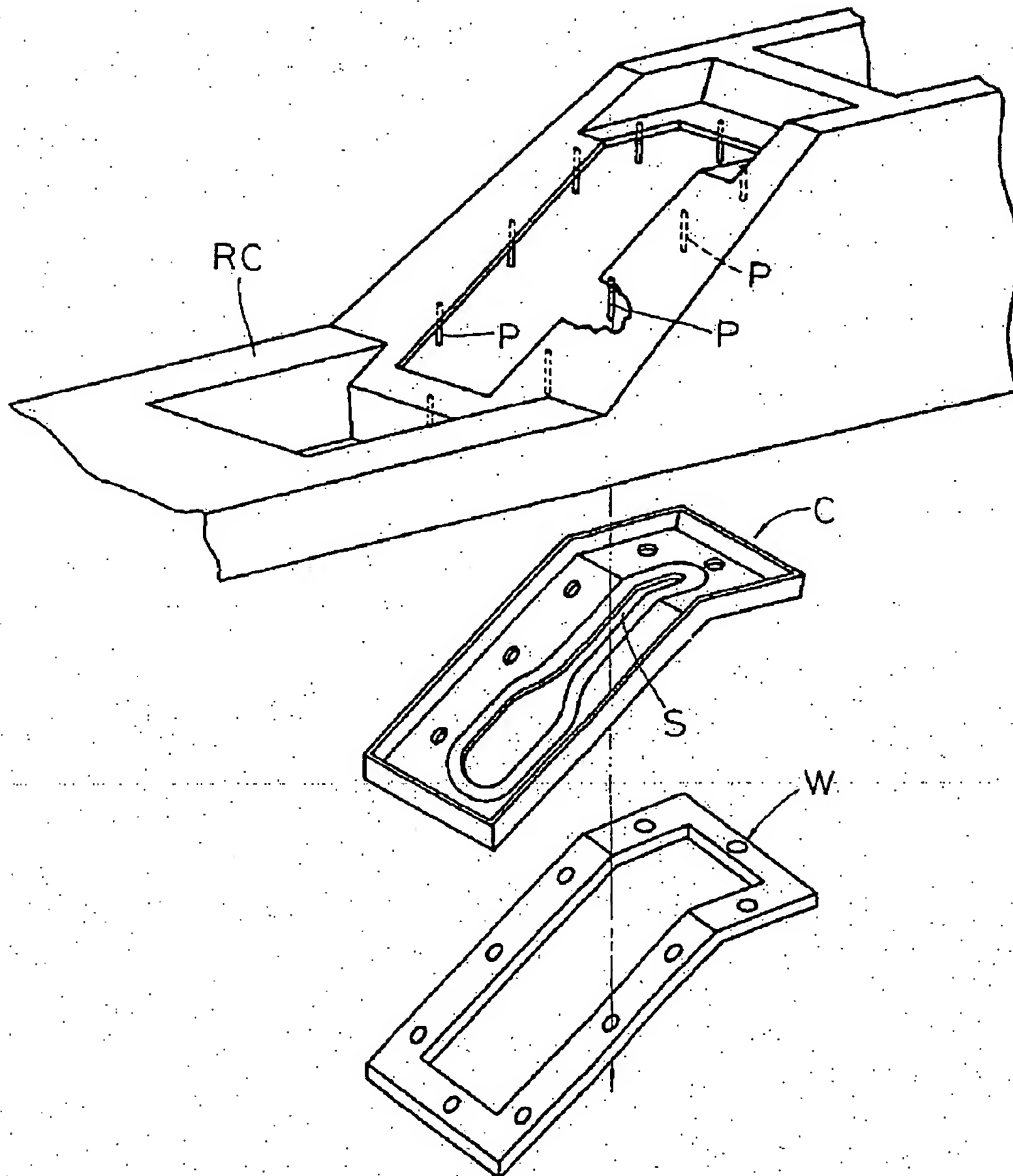


第 13 図



図面その4  
後図面無し

第14 図



436

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**